

0・1・2歳児の初めてのお話えほん

ひかりのくに

プエパオ

あそびのえほん テーマ：砂場遊び

『さらさらさらら』

5領域
との
関わり

人 言 表

指導計画事例

・砂の感触を表す
音の響きを楽しむ



ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。↓

砂をかけるページ

ねらい

音から遊びを広げる

活動内容

・スキンシップ遊び
で感触を楽しむ

環境や援助



* 「○○ちゃんのおててにも、さらさらさらら〜」と、子どもたちの名前を一人一人呼びかけながら触れる。



16-17 ページ

ねらい

迫力や臨場感を
感じながら楽しむ

活動内容

・臨場感を楽しむ



環境や援助

- * バケツをひっくり返すタイミングで、絵本を上下に動かして、実際にひっくり返っているかのように、ダイナミックに読む。
- * 読後は、実際の砂場遊びの際にも同じように擬音を楽しむ。

プチパオで
つながる
園と家庭

プチパオ読んで

幸せホルモンプラス

おうちでプチパオを楽しむポイントをご紹介します。
コピーしたり、切ったりしておたよりなどにお使いください！

10月号 ふれあい遊び 「いろんな 感触」



10月号は砂遊びがテーマです。砂遊びは子どもが大好きな遊びですね。乾いた砂はサラサラと肌をくすぐります。湿った砂は固めると色々な形になり、色々な遊びを楽しむことができます。肌で気持ち良い感触を感じることでオキシトシンが分泌されることもわかっています。

子どもに読んであげるときは、砂の「さらさらさら」、穴を掘るときの「ざくざくざく」といった擬音（オノマトペ）も強調して読んであげましょう。子どもはこうした擬音が大好きで、皮膚感覚と一緒にイキイキとした感触を感じさせてくれる効果もあります。さらにこうした遊びを、日常の他の場面でも応用してみましょう。たとえば小麦粉で粘土を作ったり、片栗粉でスライムを作ったりするのも面白いでしょう。お風呂ではお湯やシャワーを掛け合うなどすると、バリエーションが広がります。子どもにとってこうした豊かな皮膚感覚は、その後さまざまな物を「見る」だけで把握する土台となるとても大切なことなのです。

幸せホルモンとは

オキシトシンは『幸福ホルモン』とも呼ばれ、親子のふれあいをすると親にも子どもにもたくさん分泌されるホルモンです。その作用は、大切な親子の愛着のきずなを築いたり、ストレスを小さくしたり、睡眠の質を高めるなど様々な効果があります。



山口 創

桜美林大学リベラルアーツ学群教授。専攻は健康心理学、身体心理学。幸せホルモンとふれあいの関係について研究している。「幸せになる脳はだっこで育つ」（廣済堂）など著書多数。「朝イチ」「世界一受けたい授業」などへの出演、各種雑誌媒体の監修も行っている。

